

探訪 チャレンジ企業 40

ハートフルコミュニケーションを掲げて
完全一貫生産システムを追求する印刷工場の小売店
株式会社そうごう：寺井町



(株)そうごう社屋

一 九階建ての本社ビル完成

寺井町栗生工業団地の一面に、最近、九階建てのすばらしいビルが誕生した。屋上からは白山や、手取川から日本海に至るまでを一望に収めることができ、敷地内には、ヤマメ、イワナ、カジカ、コイなど、清流を好む魚が泳ぎまわる。現在、これ



工場外観

らの魚をより広い所へ移すべく、修景を兼ねた池を掘削中だが、「自然との調和」という点では、この建物は時代の最先端を行くことは、間違いない。ハートフルコミュニケーションを掲げて、デザイン、製版、印刷から各種加工、物流までを一貫して手掛ける「(株)そうごう」の本社社屋である。

二 印刷プロセス — デジタル製版 システムの活用 —

印刷プロセスは、デザイン制作から製版を経て、本刷りへと進む。印刷方式には、凸版（活版）、グラビア（凹版）、オフセット（平版）、スクリーン（孔版）

潤吉氏によって、昭和四十九年に創立された。数度の工場移転を経て平成五年に現在地に定着し、その後十年で新社屋建築へと漕ぎ着けたのである。

の四種類があるが、いずれの方式をとっても、この手順は変わらない。しかし、CTP（コンピュータ・トゥ・プレート）システム（デジタル製版システム）を導入すると、コンピュータからフィルムなしに、直接版を取り出せるので、リードタイム短縮とコスト削減が可能となり、また、デジタル化によって品質も安定する。更に、DDCP（カラープルーフ）システムを併用することによって、仕上がりイメージを早期に出力できるので、顧客に安心感を提供できる点ではアナログ方式と変わらない。

三 一貫生産システム — 印刷工場の小売店 —

最先端設備を駆使する製版・印刷部門と並んで、一貫生産を手掛ける加工部門もまた、同社の大きな財産の一つである。例えばDM印刷を受託すると、中身の印刷と同時に顧客の社名入り封筒も作成し、自動封入を行って投函可能な状態にまで仕上げる。（メイラーシス

テム）また、カレンダーの場合は、印刷、丁合印刷物をページ順に揃えていくこと）から金具留め加工、ヒモ付けまでを全て行う。製品完成後は一五〇〇棚を備えた自動倉庫に保管し、必要なときに、必要なものだけをピッキングしてセットとし、指定日に着荷するように梱包して発送する。同社の製品は、紙製、プラスチック製のポスター、カレンダー、チラシやPOP、パッケージ、カード類、また、ページ物と呼ばれるカタログ、PR誌、書籍、更にはマウスパッドやシルクスクリーンによる特殊印刷物に至るまで多彩多岐にわたるが、全てこのようにして印刷され、希望に応じて加工され発送されるのである。

四 新たな挑戦 — ブロードバンドの活用 —

同社が本社ビル新築に踏み切った理由は、「都会と田舎との距離をゼロにすること」である。そのために、各種の新鋭設備機器を導入してきたが、現時点ではインフラの未整備により、印刷データの通信入稿が出来ない。また工場に設置された管理カメラの映像を顧客が自由に利用できないなどといったいくつかの欠陥がある。状況を幾分でもよくするために、小松市内の協力会社に頼んで、Bフレツツ（光ファイバー）を引いてもらい、その会社と同社屋上の双方に無線LAN用のアンテナを設置して、インター



自動倉庫

この回線を利用して、更に、創意と工夫を加えていけば、同社の躍進は益々加速していくことだろう。

（お問い合わせ）

株式会社 そうごう

〒九二二-1101

能美郡寺井町

粟生西六一一三

TEL〇七六一一五八〇〇一

FAX〇七六一一五八〇〇九

E-mail:sougou5

@lilac.ocn.ne.jp

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。